

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子ども家庭支援の心理学				
担当者氏名	山崎 徳子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

保育・教育実践に必要な保育相談援助の理論と実際を、事例などを通して体験的に学習する。

保育現場における具体的な事例研究を通して、カウンセリングマインドを基礎におく対象への理解を深める。

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜資料を配布する。

《授業の到達目標》

保育・教育実践に必要な子ども家庭支援の理論と実際を理解する。

《授業時間外学習》

- ・新聞、その他マスコミの報道などから、子どもの問題に関心を持つ。
- ・出された課題について仕上げて提出する。
- ・授業後の実習やボランティア活動などの場で、関連した事例に出会ったとき、より深く理解する。

《成績評価の方法》

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| (1) 平常点（授業態度など）   | 30% |
| (2) 授業の内容に即したレポート | 20% |
| (3) 定期試験          | 50% |

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	1	イントロダクション
2	2	子ども家庭支援の意義
3	3	保育の特性と保育士の専門性 I
4	4	保育の特性と保育士の専門性 II
5	5	相談を聴く I 傾聴の基礎
6	6	相談を聴く II 仕事と子育て 両方を支援する
7	7	相談を聴く III 子育て広場
8	8	相談を聴く IV DV
9	9	相談を聴く V ジェンダー
10	10	連絡ノート クラス便り
11	11	発達障害と養育者の思い I
12	12	発達障害と養育者の思い II
13	13	児童虐待 I
14	14	児童虐待 II
15	15	まとめ